

(2) 事業内容

建築業界の“しごと”の魅力をPRするため、仕事内容の紹介や、活躍している人の紹介、見学会等のイベント等の情報を発信する。

入職希望者や入職者には、出前講座や相談会、資格取得に係る講習会等の情報を一元掲載することにより、建築業界の情報提供の効率化を図るとともに、情報収集の利便性を向上させる。

また、職場環境改善事例紹介や、国の施策情報等を適時配信し、建築業界の職場環境改善のボトムアップを図る。

(3) 県負担・補助率の考え方

全額県負担

「公共工事の品質確保の促進に関する法律」の改正（H26）では、担い手の中長期的な育成・確保が発注者の責務であるとされた。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託料	2,167	HP 保守管理委託費
合計	2,167	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

担い手3法（改正：平成26年6月4日）において、建設工事の担い手の確保及び育成とその支援に関する責務が追加され、建設業の人材不足について、国においても喫緊の課題として捉えられている。

建設業としての取組みは国及び他県でも行われているが、建築業界に特化した担い手確保・育成事業は見当たらない。

事業評価調書（県単独補助金除く）

<input type="checkbox"/>	新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/>	継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

建築業界の仕事の紹介や見学会・交流会等の情報、職場環境改善の施策等を、インターネットを通じて広く情報発信し、仕事への理解と魅力を深めることにより、建築業界への入職者の確保・育成・定着の促進を図るとともに、建築現場の職場環境改善など建築業界全体のボトムアップを図る。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	R2 年度	R3 年度	R4 年度	終期目標	達成率
	(H30)	実績	目標	目標	(R)	
年間総アクセス数 <small>(セクションサイトへの訪問回数)</small>	0 <small>(H30)</small>	25,399 <small>(R2)</small>	12,000 <small>(R3)</small>	12,000 <small>(R4)</small>	12,000件 <small>(R5)</small>	%

※R2 の数値が大きい理由：R3.2 9,813 件、R3.3 10,888 件（R1 10,125 件）
→Yahoo 広告掲出による増

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	<p>平成31年4月から稼働。 令和2年度の総アクセス数 25,399 件。 建築業の仕事内容はもちろんのこと、研修会の案内、イベントの告知等を随時情報提供した。 アクセス数も順調に伸び、伝えたい情報をタイムリーに提供することができた。 当センターが行う研修会の申込みもサイトから簡単にできるようになり、利用者の利便性が向上した。</p>
令和3年度	<p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%</p>

令和4年度	
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・事業の必要性（社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断） <small>3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</small>	
(評価) 3	人材不足の背景として、3K（きつい・汚い・危険）といったイメージがあること、建築業に関する情報が少ないため就職後のギャップによる離職率が高いことなどから、人材確保のためには、建築業界への理解を深め、“しごと”の魅力を発信していくことは、重要である。
・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） <small>3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない</small>	
(評価) 3	アクセス数は順調に伸びており、期待どおりの成果があがっている。
・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） <small>2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</small>	
(評価) 2	岐阜県建築担い手育成協議会の会員とも連携し、会員の情報も積極的にアップすることで、情報の共有化、効率化を図っている。

(今後の課題)

建築業界の就労に対しては、ネガティブなイメージが根強いいため、長期的な視点でのイメージアップが必要である。

(次年度の方向性)

建築業界、関係機関の意見や利用者のニーズを踏まえ、見直しを加えながら建築業界の魅力を発信を継続的に実施していく。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	【〇〇課】
組み合わせて実施する理由や期待する効果 など	